

## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月6日

上場会社名 ウシオ電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6925 URL <https://www.ushio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝日 崇文  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 伊藤 広己  
 配当支払開始予定日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	126,947	0.9	7,734	4.6	8,877	15.1	4,036	29.8
2025年3月期第3四半期	128,099	3.3	7,395	27.5	10,461	17.1	5,747	33.9

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 18,107百万円 (92.8%) 2025年3月期第3四半期 9,390百万円 (-54.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	47.25	
2025年3月期第3四半期	58.22	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	314,940	197,881	62.8
2025年3月期	297,304	200,509	67.4

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 197,867百万円 2025年3月期 200,499百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期				70.00	70.00
2026年3月期(予想)				70.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	170,000	4.3	10,000	13.3	10,500	15.7	7,000	3.0	79.45	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	92,500,000 株	2025年3月期	92,500,000 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	10,952,396 株	2025年3月期	3,910,017 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	85,435,934 株	2025年3月期3Q	98,718,071 株

(注)株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料4ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2026年2月6日(金)に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する資料につきましては、2026年2月6日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結会計期間における世界経済は、米国の関税措置による影響、中国経済の動向、為替動向、及び長期化する地政学リスクなど、不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、半導体・電子デバイス・プリント基板市場においては、世界的にパソコンやスマートフォンなどの需要が緩やかに回復し稼働は安定的に推移したものの、関連する設備投資は抑制傾向が継続しています。サーバー市場においては、生成AI関連に牽引され新たな需要の高まりが見られる一方で、既存のデータセンター向けサーバーへの投資は抑制及び延期が継続しています。フラットパネルディスプレイ市場においては、スマートフォンやタブレット端末用の有機ELディスプレイの需要は高まりつつある一方で、液晶パネルの需要低迷により液晶パネルメーカー各社の稼働は低調に推移しています。映像関連市場においては、ハリウッドストライキに起因するコンテンツ不足の影響などは解消し、設備投資意欲は回復傾向にあるものの、エンターテインメントの多様化が進む中、映画館の稼働低迷は継続しています。一般映像機器市場においては、イベント等での高度な映像演出ニーズの高まりにより、堅調な市況が継続しています。

当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが前第3四半期連結累計期間に比べ3円円高の149円となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,269億4千7百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は77億3千4百万円（前年同期比4.6%増）、経常利益は88億7千7百万円（前年同期比15.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億3千6百万円（前年同期比29.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (Industrial Process事業)

##### [露光用ランプ]

パソコンやスマートフォン等の最終製品の需要は緩やかに回復しつつあり、生成AI半導体関連の需要にも支えられ、設置済み装置の稼働が堅調に推移したことで販売が増加しましたが、円高の影響を受け横ばいとなりました。

##### [OA用ランプ]

ペーパーレス化による販売の減少に加え、円高の影響を受け、減収となりました。

##### [光学機器用ランプ]

スマートフォンやタブレット端末用向けの有機ELディスプレイを中心に、フラットパネルディスプレイ市場の稼働が緩やかな回復基調にあることや、半導体関連市場の稼働が好調であることにより、フラットパネルディスプレイ向けやサーマルプロセス向けの販売が増加し、増収となりました。

##### [光学装置（露光装置）]

生成AI向けサーバー需要及び関連する光通信需要の増加を背景に、直描式露光装置の販売は増加しました。一方、生成AI半導体の急速な普及に伴い半導体アドバンスドパッケージの需要が増加しているものの、投影露光装置については、既存のデータセンター向け需要の低迷及び過去の過剰投資の影響から、投資の抑制や延期が継続し、販売が減少しました。これらの結果、減収となりました。

##### [光学装置（その他）]

EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源の保守メンテナンスサービス収入は、コスト低減要求による単価下落により減少しました。また、液晶パネル向け投資の減少傾向を受け、光配向装置の販売も減少し、減収となりました。

なお、利益面では、減収に加え、DLT等の露光装置関連における先行投資の拡大や、露光装置の需要回復遅れに伴う滞留資産等の評価損計上が影響し、減益となりました。

以上の結果、Industrial Process事業の売上高は529億5千4百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は38億1千1百万円（前年同期比46.3%減）を計上いたしました。

(Visual Imaging事業)

[プロジェクター用ランプ]

映画館の稼働はハリウッドストライキの影響が解消し回復傾向にあるものの、レーザープロジェクターの浸透によりシネマプロジェクター用クセノンランプの販売は減少しました。一般映像向けプロジェクター用ランプも同様の影響を受け販売が減少し、加えて円高の影響も受け、減収となりました。

[映像装置（シネマ）]

ハリウッドストライキに起因する映画館での投資意欲の減退が解消し、プロジェクターの置き換え需要は回復傾向にあるものの、円高の影響を受け、横ばいとなりました。

[映像装置（一般映像）]

エンターテインメント分野における映像演出ニーズが堅調に推移し、ハイエンドプロジェクターの販売が増加したことから、増収となりました。

なお、利益面では、前年同期に計上した棚卸資産評価損の減少に加え、製品ポートフォリオの見直しや構造改革による収益性の改善が寄与し、増益となりました。

以上の結果、Visual Imaging事業の売上高は605億8千7百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は35億6千9百万円（前年同期比145.1%増）を計上いたしました。

(Life Science事業)

植物育成向けナトリウムランプの販売増加が貢献し、増収となりました。また、新規案件の投資対象見極めにより収益性が改善し、増益となりました。

以上の結果、Life Science事業の売上高は47億4千2百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は2億9百万円（前年同期はセグメント損失7億9千5百万円）を計上いたしました。

(Photonics Solution事業)

半導体向け及び産業用途向けにおいて、デバイス及びモジュールの需要は堅調に推移したものの、デバイスを中心とした案件の絞り込みにより、売上高は横ばいとなりました。一方で、案件の選択と集中により収益性が改善し、増益となりました。

以上の結果、Photonics Solution事業の売上高は76億7千6百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は2億4千4百万円（前年同期はセグメント損失3億3千万円）を計上いたしました。

(その他事業)

客先製造ラインの稼働回復に伴い、点灯装置の販売が増加しましたが、主に販管費の増加により、減益となりました。

以上の結果、売上高は10億1千万円（前年同期比1.7%増）、セグメント損失は2千5百万円（前年同期はセグメント利益3千1百万円）を計上いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,149億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ176億3千6百万円増加いたしました。主な増加要因は、売掛金の回収及び外部借入による現金及び預金の増加及び保有投資有価証券の含み益の増加による投資有価証券の増加であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,170億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ202億6千4百万円増加いたしました。主な増加要因は、配当支払や自己株式購入等の資金需要による長期借入金の増加及び保有投資有価証券の含み益の増加による繰延税金負債の増加であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,978億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億2千8百万円減少いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の増加によるその他有価証券評価差額金の増加及び当第3四半期連結会計期間末にかけて円安が進行したことによる為替換算調整勘定の増加であります。一方、主な減少要因は、自己株式の増加及び配当支払による利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表した通期連結業績予想から変更はありません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	61,348	70,129
受取手形、売掛金及び契約資産	40,321	35,901
有価証券	2,200	4,180
商品及び製品	30,424	30,965
仕掛品	20,146	20,172
原材料及び貯蔵品	25,786	26,520
その他	7,746	11,624
貸倒引当金	△1,413	△1,667
流动資産合計	186,560	197,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,163	55,019
減価償却累計額	△35,085	△36,800
建物及び構築物（純額）	18,077	18,219
機械装置及び運搬具	31,328	32,130
減価償却累計額	△23,701	△24,741
機械装置及び運搬具（純額）	7,627	7,388
土地	8,879	8,516
使用権資産	4,459	4,682
減価償却累計額	△1,472	△2,213
使用権資産（純額）	2,987	2,469
建設仮勘定	1,655	1,815
その他	37,139	40,563
減価償却累計額	△26,449	△28,890
その他（純額）	10,689	11,673
有形固定資産合計	49,916	50,082
無形固定資産		
のれん	635	581
その他	4,470	4,186
無形固定資産合計	5,105	4,767
投資その他の資産		
投資有価証券	37,473	43,958
長期貸付金	13	12
繰延税金資産	3,251	3,254
退職給付に係る資産	12,342	12,469
その他	2,782	2,692
貸倒引当金	△141	△123
投資その他の資産合計	55,721	62,263
固定資産合計	110,744	117,113
資産合計	297,304	314,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流动負債		
支払手形及び買掛金	15,268	18,208
短期借入金	1,617	1,471
1年内返済予定の長期借入金	1,410	25,000
リース債務	961	994
未払法人税等	4,019	1,476
契约負債	10,874	14,588
賞与引当金	2,572	1,389
役員賞与引当金	78	35
製品保証引当金	3,317	3,434
受注損失引当金	0	—
その他	11,275	10,050
流动負債合計	51,396	76,650
固定負債		
长期借入金	35,000	26,500
リース債務	2,410	1,830
繰延税金負債	3,205	7,543
役員退職慰労引当金	86	85
役員株式給付引当金	151	187
退職給付に係る負債	3,523	3,273
資産除去債務	358	366
その他	662	622
固定負債合計	45,398	40,409
負債合計	96,794	117,059
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	27,767	27,768
利益剰余金	111,776	109,586
自己株式	△7,672	△22,183
株主資本合計	151,428	134,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,326	19,356
為替換算調整勘定	32,295	39,538
退職給付に係る調整累計額	4,449	4,245
その他の包括利益累計額合計	49,071	63,139
非支配株主持分	10	13
純資産合計	200,509	197,881
負債純資産合計	297,304	314,940

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	128,099	126,947
売上原価	81,143	80,371
売上総利益	46,955	46,575
販売費及び一般管理費	39,560	38,841
営業利益	7,395	7,734
営業外収益		
受取利息	1,024	959
受取配当金	922	646
有価証券売却益	—	9
為替差益	1,156	—
投資事業組合運用益	27	32
その他	392	495
営業外収益合計	3,522	2,143
営業外費用		
支払利息	241	271
投資有価証券償還損	0	150
為替差損	—	508
訴訟関連費用	125	—
その他	89	69
営業外費用合計	456	1,000
経常利益	10,461	8,877
特別利益		
固定資産売却益	16	38
投資有価証券売却益	22	3,529
特別利益合計	39	3,567
特別損失		
固定資産除却損	169	176
固定資産売却損	0	31
減損損失	108	389
投資有価証券評価損	500	159
事業構造改善費用	—	4,101
特別損失合計	777	4,857
税金等調整前四半期純利益	9,722	7,587
法人税、住民税及び事業税	3,079	2,114
法人税等調整額	897	1,434
法人税等合計	3,976	3,548
四半期純利益	5,745	4,038
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,747	4,036

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,745	4,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	601	7,029
為替換算調整勘定	3,159	7,243
退職給付に係る調整額	△105	△204
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	—
その他の包括利益合計	3,645	14,069
四半期包括利益	9,390	18,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,392	18,105
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	Industrial Process 事業	Visual Imaging 事業	Life Science 事業	Photonics Solution 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,624	60,377	4,493	7,617	127,113	985	128,099	—	128,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	6	1	0	11	7	18	△18	—
計	54,627	60,384	4,494	7,617	127,124	993	128,117	△18	128,099
セグメント利益又は 損失 (△)	7,101	1,456	△795	△330	7,430	31	7,461	△66	7,395

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△66百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び全社費用△67百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他収益を獲得する事業活動に属していない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	Industrial Process 事業	Visual Imaging 事業	Life Science 事業	Photonics Solution 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	52,952	60,579	4,739	7,676	125,948	999	126,947	—	126,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	7	3	—	12	11	23	△23	—
計	52,954	60,587	4,742	7,676	125,960	1,010	126,970	△23	126,947
セグメント利益又は 損失 (△)	3,811	3,569	209	244	7,835	△25	7,809	△75	7,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△75百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び全社費用△82百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメント及びその他収益を獲得する事業活動に属していない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月5日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,493,900株の取得を行いました。これを含む自己株式の取得及び処分の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が14,510百万円増加しております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,724百万円	6,519百万円
のれんの償却額	90百万円	77百万円